

SHIRATAKA
PUBLIC
RELATIONS



しらたか 広報 たか

7.12
JUL 2006
NO.948

白鷹町文化交流センター基本計画②
白鷹町重要事業要望⑥
児童手当等について⑧
高齢者虐待のことを知ってください！⑩
第41回白鷹若鮎マラソン大会⑬

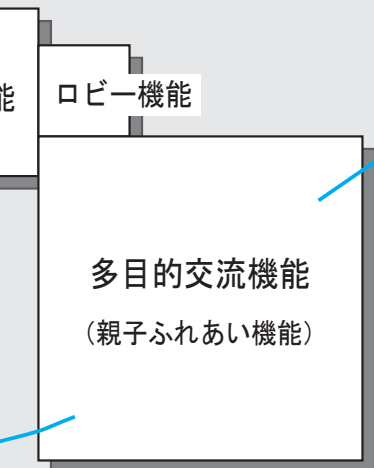
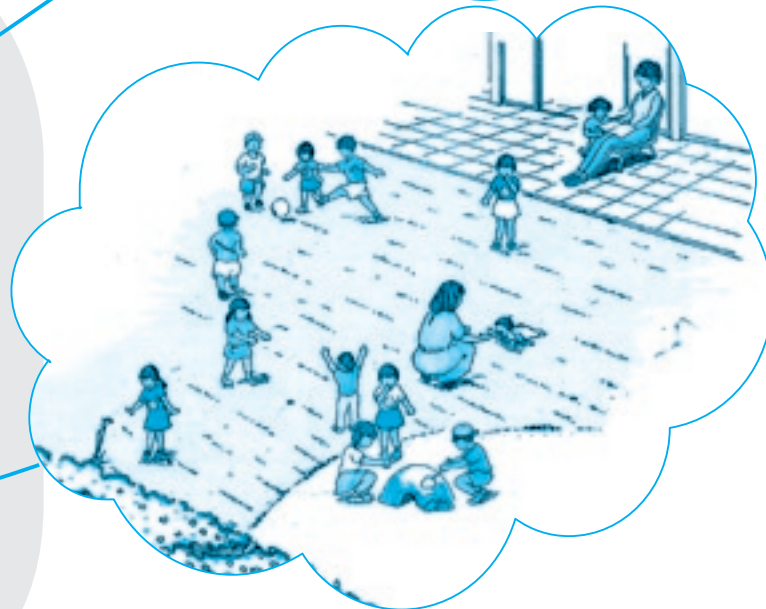
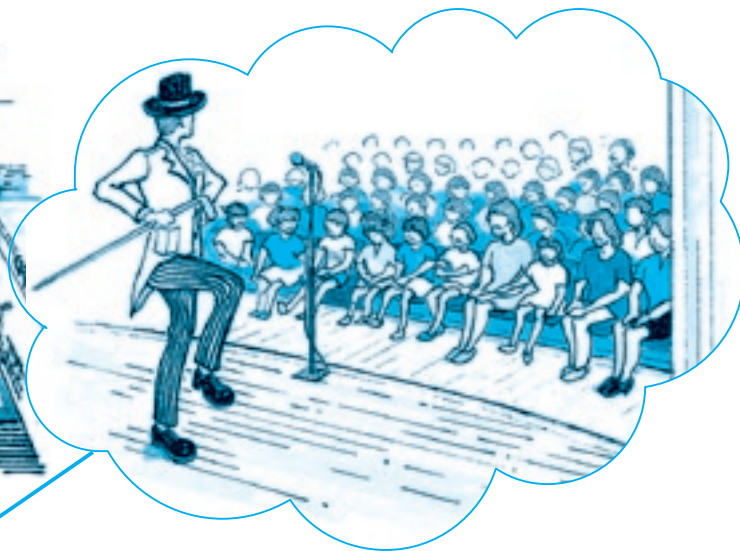


日本女子ソフトボールリーグ山形大会 —
6月10日、11日、ソフトボール場で、日本女子ソフトボールリーグ山形大会が開かれ、オリンピックに出場した選手などが熱戦を繰り広げました。この山形大会は前期の最終戦に当たり、前年度優勝の日立&ルネサスなど6チームが参戦。10日の3試合は、すべてが1点差の緊迫した試合となりました。世界レベルのプレーが観戦に訪れた延べ3000人の観衆を魅了しました。

これらを一体的に結びつける「文化伝承発信空間」、
施設と一体的に活用できる屋外交流広場

白鷹町文化交流センター基本計画

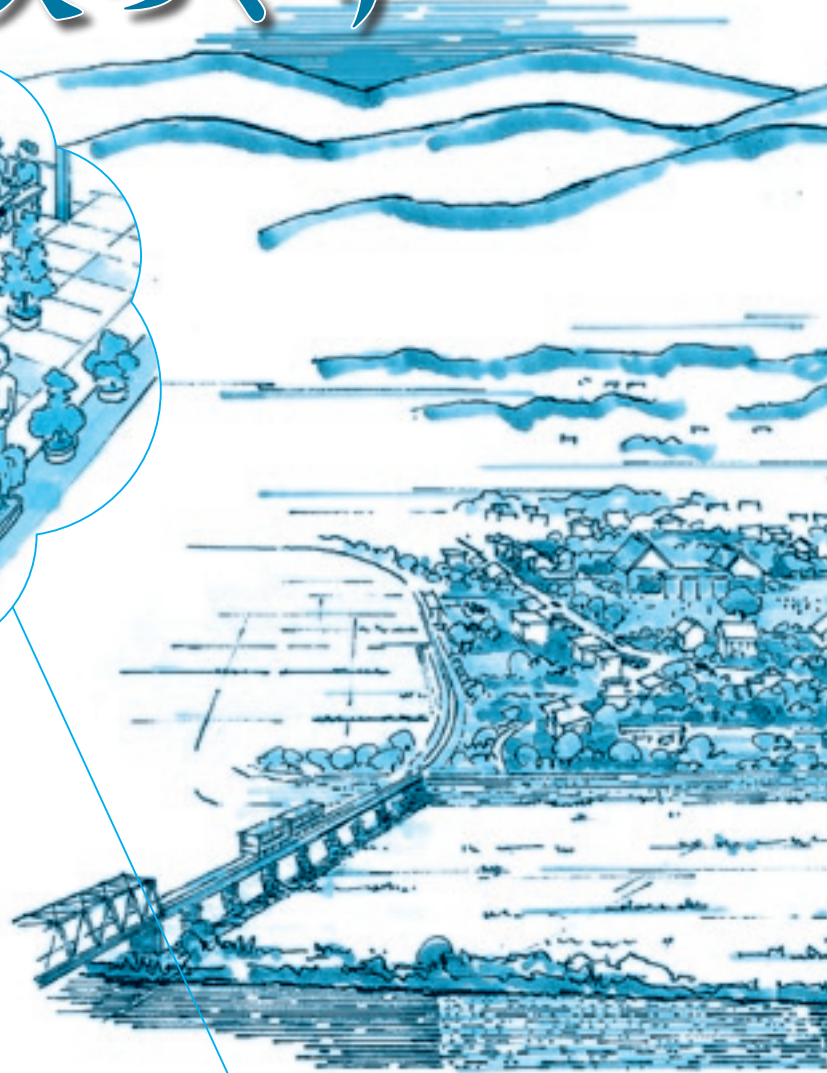
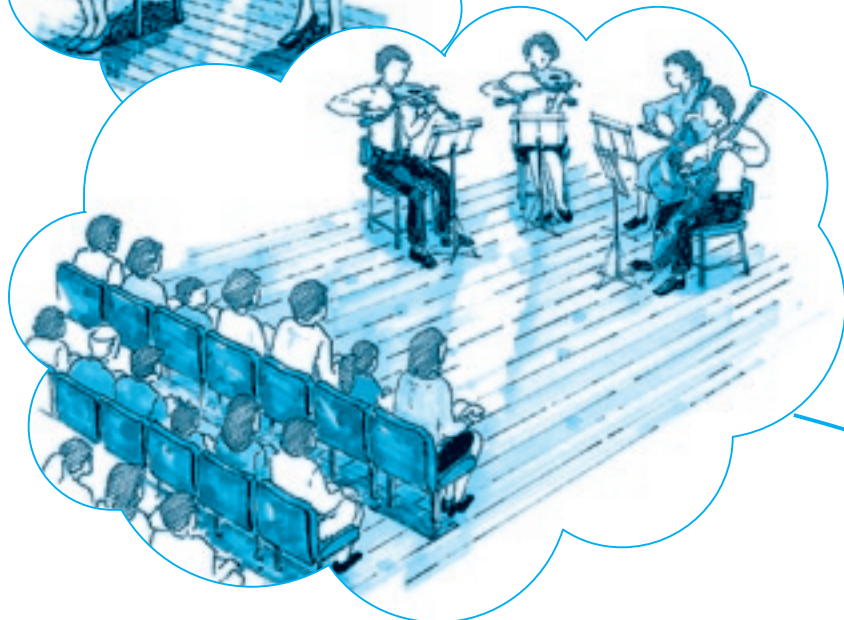
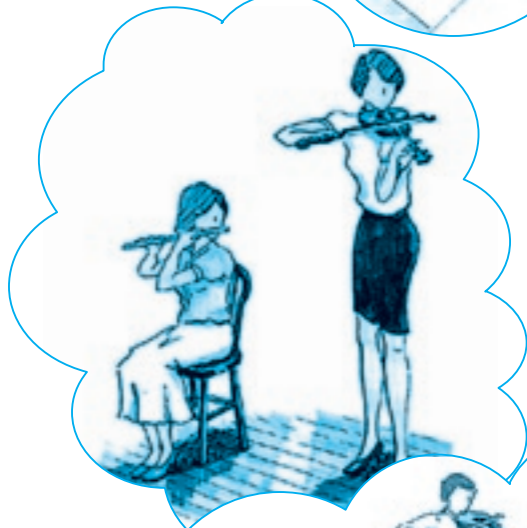
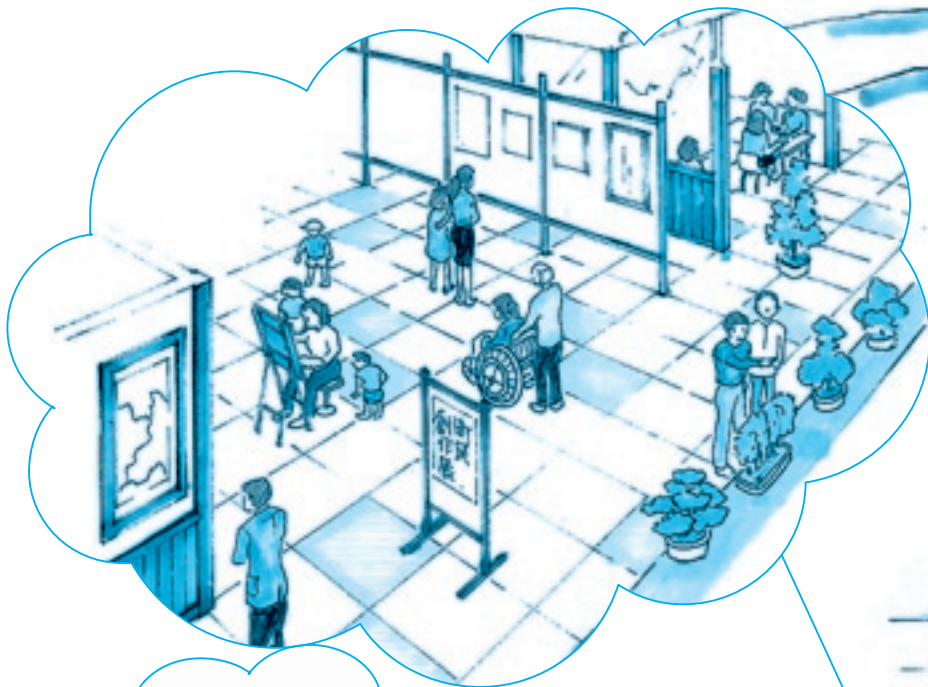
策定しました



全体イメージ

音に配慮した「多目的交流空間」、美に配慮した「ギャラリー空間」、

文化と交流と人づくり



ギャラリー的機能

文化伝承発信機能

屋内と屋外の
一体的活用

屋外交流広場

新しい文化が生まれ育つための

“拠り所”として—

白鷹町文化交流センター基本計画を 策定しました

広報しらたか6月12日号で
お知らせしました中間報告に、
皆さまからいただいたご意見
を加えて、「白鷹町文化交流セ
ンター基本計画」を策定しま
した。

中間報告以降の主な修正点

- ①白鷹町全体の新しいまちづ
くりの拠点となる施設であ
ることを明記しました。
 - ②ギャラリー機能について、
郷土が生んだ梅津五郎画伯
を顕彰する表現を加えまし
た。
 - ③コピー機能についての説明
を加えました。だれもが入
りやすく開放的な空間とす
る、展示空間としても活用
できるものとするなどの説
明を加えています。
 - ④屋外交流広場について、整
備にあたって町民参加を考
慮する、水辺空間も創出す
る、屋外トイレを設置する
などを加えました。
- 以上が主な修正点です。

基本計画の概要

文化交流センターが 目指すもの

白鷹町文化交流センターは、
「文化・交流・人づくり」に
よるまちづくりの拠点を目指
します。

計画のテーマ

「出会い 体感 未来」

計画の特徴

- 1 文化を体感することによ
り、新たな行動意欲を生む
・ 町民の創造性を高め、発表
する機会が提供できること。

- ・ 文化の芽生えや成長が体験
できる空間であること。
- ・ 施設をよりどころとして、
新たな感性が生まれ育つ空
間であること。
- ・ 白鷹文化を認識し、伝承と
情報発信を図ることができ
ること。

2 住民間のコミュニケーションを深める

- ・ 常に人びとが集まる、和や
かなふれあい空間であるこ
と。
- ・ 気楽にアクセスができ、立
ち寄りやすいこと。
- ・ 住民の主体性や地域コミュ
ニティ能力を育むものであ
ること。
- ・ 運営を住民組織が担当し、
住民に開かれた形態を目指
すものであること。

3 まちづくりと人づくりのシンボルとして、未来への変化を感じさせること

- ・ 人の動きや姿が見え、ぬく
もりや暖かさを感じさせる
もの。
- ・ 町の変化の方向を予感させ、
継続的な発展性を感じさせ
るもの。
- ・ 心理的にも外観的にも人々
の印象に残る、町のランド
マーク（*1）になるもの。

4 町に、良好な風景を生み出す

- ・ 最上川をはさむ町並み風景
を生かし、その特徴を高め
るもの。
- ・ フラワー長井線の鉄橋のあ
る風景を生かし、その特徴
を高めるもの。

5 特徴ある町並みとして、新たな風景と魅力的な景観を形成する。

- ・ 町や地域の情報発信力と情
報吸収力を高める。
- ・ 町に来た人に、もう一度訪
れたい気持ちを起させる。
- ・ 継続して、新しい情報が生
み出されていること。

施設の基本概念

音に配慮した「多目的交流
空間」、美に配慮した「ギャラ
リー空間」、それらを一体的に
結びつける役割を持つ「文化
伝承発信空間」、さらに「屋外
交流広場」が施設と一体とな
り、これら四つの機能が織り
なすことにより、新たな交流
を生み出す施設です。

*1 ランドマーク…地域の目印や象徴となる建築物

文化交流センターは 新しいまちづくりの拠点です

施設機能の基本方針

だれもが立ち寄りたくなる、町民に開かれた空間構成を目指す。「文化・交流・人づくり」が高まる機能を備え、新たな文化が生まれ育つインキュベーター(*2)のような空間とします。

① 多目的的交流機能

音楽・演劇(観ること、聴

くこと、発表すること)などの音による感性空間とします。また、子どものためのコンサート、遊びを通じた親子ふれあい機能を併せ持ちます。

② 文化伝承発信機能

白鷹文化を伝承するための、さまざまな展示、創作活動、交流活動に対応し、新たな情報集積と発信ができる機能を持ちます。

③ ギャラリー機能

芸術に対する感性と創作意

欲を高める教育効果、将来の人間形成のきっかけづくりとなる機能を持ちます。

④ ロビー機能

出会いと感動を予感させ、白鷹町の文化への入り口となる空間です。

⑤ 屋外交流広場

アプローチ(導入路)、駐車場、芝生広場、屋外ステージなどを計画します。

この白鷹町文化交流センター基本計画(全編)については、町のホームページや役場2階の政策改革課をご覧ください。

今後は、施設設計の作業とともに、さらに具体的な運営計画を策定し、平成21年度のオープンを目指します。

■ 問い合わせ 政策改革課

鮎貝まちづくり推進室 (☎ 851-6123)



新駅「四季の郷駅」(仮称)を設置

フラワー長井線荒砥駅―鮎貝駅間に

これは、鮎貝まちづくり事業の一環として行うもので、すでに分譲が始まっています。白鷹ニュータウン「四季の郷」やその周辺地域の皆さんの身近な交通手段として、フラワー長井線の新駅「四季の郷駅」(仮称)を設置します。

今年度、町が山形鉄道に対して設置を要望していました。6月29日、山形鉄道の取締役会で正式に決定されました。今年度内に設計を終了し、

19年度の着工・完成を目指します。この駅の設置により、地域住民の住みやすい環境を確保するとともに、フラワー長井線の利用拡大につなげていきたいと考えています。

規模などの詳細は未定ですが、今後、山形鉄道と協議を重ね、「四季の郷」やその周辺の住民の皆さんが利用しやすい、そして訪れる町外のかたがたとの交流の玄関口として魅力ある駅を目指します。

*2 インキュベーター…本来は卵をかえす孵卵器や保育器の意味だが、本編では育成する、支援するという意味で使用している

「重要事業」として要望しています— 平成19年度

白鷹町重要事業要望

「重要事業要望」は、白鷹町が発展していくための骨格となる重要な事業について、その事業が着実に実現するように県に対し要望するものです。
平成19年度に向けて要望している主要な項目についてお知らせします。

地方財源の確保充実に ついて

1. 地方交付税の確保

地方交付税制度は、地方公共団体の財源の不均衡を是正し、それぞれの地域の住民が一定の行政サービスを受受できるよう財源を保障する制度で、地方交付税は地方共有の固有財源です。その地方交付税制度の持つ機能の堅持・総量の確保を要望するものです。

2. 過疎地域に対する過疎対策事業債の充実

本町は、昭和45年に過疎地域の指定を受けて以来、社会資本の整備を積極的に推進し、急激な人口減少の歯止めに必要な成果を挙げて来しました。

平成12年3月に制定された過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎対策を推進していくために、過疎対策事業債の確保と起債対象事業の拡大を要望するものです。

浄化槽設置整備事業に係る県の支援について

本町では、全町下水道整備構想を策定し、公共下水道事業及び農業集落排水事業区域以外の地域については浄化槽設置整備事業により整備を進めています。合併処理浄化槽は、生活排水の浄化対策として極めて有効な処理施設であり、水質保全・環境保全に大きく寄与しています。

今後も浄化槽設置整備事業

の推進を図るため、県の合併処理浄化槽設置補助金の復活について要望するものです。

医師の確保及び定着化の 推進について

本町町立病院は、地域住民の健康を守る岩として、地域医療の確保と医療水準の向上に努めています。医師の員数の標準強化は、病院経営の根幹に大きな影響を与えるものです。

地域住民に密着し地域医療を守ることを使命とする町立病院の安定的な経営を図るために、医師の確保及び定着化について、特段の配慮を要望するものです。また、医師の員数に関する法令等については、本地域の苦しい実情を十分に考慮した基準の緩和を要望するものです。



▲町民の健康と安心を守る町立病院

鮎貝まちづくり事業関連 事業の整備促進について

本町では、荒砥・鮎貝両市街地の都市基盤の整備による活力あるまちづくりを目指して、『白鷹文化を活かし交流促進するまちづくり』をコンセプトに「鮎貝まちづくり事業」を推進しています。

鮎貝まちづくり事業に関連する各事業の整備促進と、公益施設等を中心とした魅力あるまちづくりの創造に対する支援について要望するものです。

1. 交通ネットワークの整備

2. 企業誘致の推進について

荒砥橋整備の早期着工 について

本町は最上川が南北に貫流し、町中心部の荒砥地区と鮎貝まちづくり事業の進む鮎貝地区の両市街地を結ぶ荒砥橋は主要な交通路線です。幅員が狭く大型車のすれ違いができませんことから、交通量が増える朝晩や大型車の通行時、冬期間等は車が渋滞し、また、老朽化が進んでいることから防災上も課題となっています。

荒砥橋の整備は、まちづく

りや東西地域の連携強化、交流拡大を図るために重要であり、早期着工を要望します。



▲早期整備が期待される荒砥橋

広域幹線ネットワーク を形成する道路の整備 促進について

本町の重要幹線道路である国道287号、348号や主要地方道、一般県道の整備促進は、町民生活の向上、産業や観光交流、文化振興等に大きな役割を果たしており、引き続き広域幹線ネットワークを形成する道路の整備促進について要望するものです。

1. 国道287号（荒砥～菫蒲間）の事業推進
2. 国道287号（黒滝橋前後区間）の早期着工
3. 米沢～白鷹間の規格の高い道路の整備（早期着工）
4. 主要地方道米沢南陽白鷹

線（杉沢地内）の早期着工

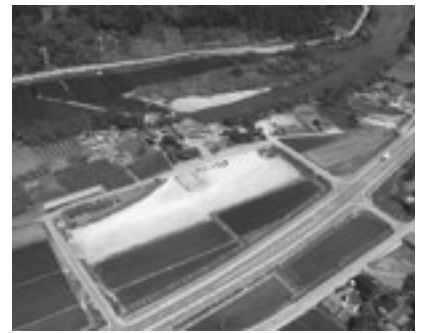
安全で安心できる歩道整備事業の推進について

主要地方道長井白鷹線の鮎貝地内では、約400mの区間の歩道が未整備となっております。蚕桑西部地区と鮎貝駅を結ぶ路線であり、鮎貝小学校及び西中学校の通学路にも指定され、スポーツ公園も近く、歩行者も多いことから、歩道整備の早期着工を要望するものです。

道の駅「しらたかヤナ公園」の登録について

「道の駅」は道路交通の円滑な流れを支え、安心して自由に立ち寄り利用できる空間として設置されていますが、本町では、国道287号沿線の下山地内に、日本一のやな場を備えたヤナ公園を設置しており、平成18年度には道の駅の要件に合致した施設整備を実施する計画です。

道路利用者の休憩機能として、さらには地域の情報発信地域の連携機能として期待される「しらたかヤナ公園」が道の駅として登録されるよう要望するものです。



▲「道の駅」登録を目指すヤナ公園

国・県道沿いの不法投棄対策について

本町では、美しい郷づくりを目指し、資源の有効利用やゴミの減量化に向けた取り組みを行い、ボランティアによる道路沿いのごみ拾いも盛んに行われていますが、国・県道等の交通量の多い路線については、悪質な大型ゴミや有害な廃棄物の投棄が後を絶たず、最上川や集落に流れ込む河川にまで影響を与えかねない状況です。投棄を防止する措置やゴミの収集等について要望するものです。

山形鉄道株式会社の経営改善に係わる財政支援について

これまでの各種対策にもかかわらず、山形鉄道は依然と

して厳しい経営状況です。フラワー長井線の存続には、新たな枠組みでの財政支援や山形鉄道経営改善計画の推進、沿線住民の利用拡大に向けた取り組みが大切です。引き続き、施設の維持、更新に係る各種補助金の確保や、利用拡大策の強化はもとより、運営に係る財政支援について要望するものです。

地域住民の生活交通（町営バス）の確保について

本町では、民間路線バスの廃止代替運行として、町営バスを2路線運行していますが、それにとどまらず、多様な交通システムを組み合わせた総合交通体系の構築を図る必要があります。県の市町村総合交付金の算定に当たり、実態に即した算定単価の拡充、現行の対象要件（乗車密度等）の緩和とともに、バス車両購入の補助制度を復活・拡充を要望するものです。

県立高等学校の再編整備の在り方について

本町では、平成16年度より取り組んできた「新キャリア教育プラン推進事業」の小・

中・高校を系統付けた地域と連携した活動において、県立荒砥高等学校に中心的役割を担っていただいています。このような中で、量的な適性規模による再編整備を進めることは、地域に根ざした小規模校の特性を活かした学校づくりを積極的に進めている本町において、地域の活力が低下するものと憂慮され、地域の実情を十分に考慮した対応を要望するものです。

白鷹町「古典桜」の国・県天然記念物指定について

本町は、エドヒガン桜の古木が点在する全国的にもまれな地域で、推定樹齢500年以上の桜を「古典桜」と名付け大切に保護しています。すでに県の天然記念物に指定されている推定樹齢1200年の薬師ザクラは全国的にも貴重なものであり、国の天然記念物としての指定を要望するものです。

また、樹齢500年以上の7本の桜については、歴史的にも、学術的にも価値が高いものであり、県の天然記念物としての指定を要望するものです。



▲樹齢1200年の薬師桜

本場米琉（白鷹板締小餅）の県無形文化財指定について

本町は、古くから養蚕が盛んで、白鷹紬は「北限の緋」と言われています。紬の原料に生糸・玉糸・真綿糸を用い、独特の「板締め染」によって精緻な緋模様が出来付けられ、独特の白鷹式高機（たかばた）織機で、丹念に織り上げたものです。

技術の粋が込められた本場米琉白鷹板締小餅は歴史上・芸術上価値が高く、大切に保存し後世に伝承していく必要があります。県の無形文化財への指定を要望するものです。

■問い合わせ 政策改革課 政策企画係（☎851-6123）

平成18年4月1日から

児童手当が小学校修了前まで拡大されました

平成18年4月1日から、児童手当制度が拡充されました。

支給対象年齢が、現在の小学校第3学年修了前（9歳到達後最初の年度末）までから、小学校第6学年修了前（12歳到達後の最初の年度末）まで拡大され、併せて、所得制限が引き上げられました。

新たに、児童手当を受けようとする児童の保護者の皆さんについては、健康福祉課児童係の窓口（公務員のかたは勤務先）で、認定請求等の手続きが必要となります。

なお、制度改正に伴う新規請求等は、法施行日より、平成18年9月30日まで受け付けたものにかぎり、特例的に4月1日（または支給要件に該当した日）にさかのぼって支給されます。

もう申請は済みましたか？

平成18年度小学校4年生の児童等の保護者の皆さんへ

（平成8年4月2日生まれ～平成9年4月1日生まれ）

平成18年3月31日まで、児童手当に係る児童手当等を受給していた保護者のかたは、特段の手続きは必要ありません。（児童手当等は4月以降も引き続き支給されます。）

上記に該当しない保護者のかたで、受給資格がある場合は、認定請求または額改定認定請求が必要になります。（下記参照）

平成18年度小学校5、6年生の児童等の保護者の皆さんへ

（平成6年4月2日生まれ～平成8年4月1日生まれ）

現在、児童手当等を受給していない保護者のかたは認定請求書、現在、下のお子さんの児童手当等を受給されている保護者のかたは額改定請求書等が必要となります。9月末まで届出をしないと、4月分にさかのぼっての支給にはなりませんので、お早めに健康福祉課児童係で手続きをしてください。

認定請求等に必要なもの

- ・印鑑（認印可）
- ・健康保険被保険者証の写し（国民年金加入者は不要です）
- ・所得証明書（平成18年1月1日現在、白鷹町に住所のあるかたは不要です）
- ・振込用預金通帳または口座番号のわかるもの（郵便局を除く）

注：所得が一定額以上の場合、児童手当等が支給されない場合があります。

※詳細については、該当者と思われるかたに配布していますパンフレットをご覧ください。

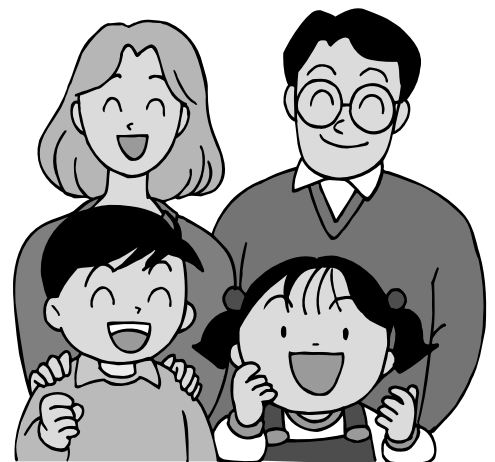
現況届は提出されましたか？

平成18年5月31日現在、児童手当を受給されているかたに現況届の用紙を送付しました。この届は、毎年6月1日における状況を確認し、児童手当を引き続き受ける要件があるかどうかを確認するためのものです。まだ、提出いただいていないかたは速やかにご提出ください。

窓口延長のお知らせ

毎週月曜日（休日の場合は翌日）は、午後7時まで窓口業務を延長していますので、ご利用ください。

問い合わせ
健康福祉課児童係
☎86-0212



児童福祉に関連する制度・手当を紹介します

児童扶養手当と特別児童扶養手当

児童扶養手当

児童扶養手当とは父の死亡、父母の離婚などにより、父と生計を同じくしていない児童が心身ともに健やかに育成されることを目的として支給されます。

●手当を受けられる人

手当を受けられる人は、次の条件のいずれかにあてはまる児童を扶養している母や母に代わってその児童を養育しているかたです。(外国人のかたでも日本国内に住所がある場合は、手当を受けられます。)

- ①父と母が離婚した児童
- ②父が亡くなった児童
- ③父が一定の障害の状態にある児童
- ④父の生死が明らかでない児童
- ⑤父から1年以上置き去りにされている児童
- ⑥父が1年以上拘禁されている児童
- ⑦婚姻によらないで生まれた児童
- ⑧出生の事情がわからない児童

*手当の支給期間は、児童が18歳に達する年度末までです。ただし、次のいずれかに該当するときは、手当は支給されません。

- ・児童が、父または母の死亡により、公的な年金や遺族補償を受けられることができるとき
- ・児童が、父に支給される公的な年金の加算対象となっているとき
- ・児童が、児童福祉施設などに入所したり、里親に預けられているとき
- ・児童が、父と生計を同じくしているとき
- ・母または養育者が、公的年金給付（老齢福祉年金を除く）を受けられることができるとき
- ・母または養育者の住所が、国内にないとき
- ・母が事実上の婚姻関係（内縁関係など）にあるとき
- ・手当を受けられる人および同居している扶養義務者の前年の所得が一定額を超える場合

●手当を受ける手続き

手当を受けようとするかたは、町の健康福祉課児童係に請求し、県知事の認定を受けなければなりません。請求にあたっては、手当を受けられる状況によって、定められた書類の提出が必要です。

●手当の支払い

手当は、県知事の認定を受けると、請求をした月の翌月分から支給されます。

12月分～3月分の手当は4月に、4月分～7月分の手当は8月に、8月分～11月分の手当は12月に、指定した金融機関の口座に振り込まれます。

*なお、所得により手当の支給が制限されることがあります。

●現況届について

すべての受給者（手当の支給が停止されているかたも含みます。）は、毎年8月1日から8月31日までの間に現況届を提出しなければなりません。

*この届を提出しないと手当は支給されません。また、2年間提出しないいると手当を受ける資格がなくなります。

特別児童扶養手当

特別児童扶養手当とは、精神または身体に障害のある児童の福祉を増進するために支給されるものです。

●手当を受けられる人

20歳未満で1級障害または2級障害があると認められた児童を看護している父または母、もしくは父母に代わって養育しているかたです。また、外国人のかたでも日本国内に住所がある場合は手当を受けられます。

●手当が受けられない場合

上記に該当した場合でも次のようなときには支給されません。

- ・児童が児童福祉施設など（例…肢体不自由児施設・精神薄弱児施設）に入所している場合（ただし、母子入所や通所の場合などを除く。）
- ・手当を受けようとする人の住所が日本国内にない場合
- ・対象となる児童の住所が日本国内にない場合
- ・障害のために公的年金を受けられることができる児童
- ・手当を受けられる人および同居している扶養義務者の前年の所得が一定額を超える場合

●手当を受ける手続き

手当を受けようとするかたは、町の健康福祉課児童係に請求し、県知事の認定を受けなければなりません。請求のときは、定められた書類を提出しなければなりません。

●手当の支払い

手当は県知事の認定を受けると、請求した月の翌月分から支給されます。支払いは年3回（4月、8月、12月）指定した郵便局の口座に振り込まれます。

●所得状況届について

すべての受給者（手当支給を停止されているかたも含みます。）は、毎年8月1日から8月31日までの間に所得状況届を提出することが義務づけられています。

*この届けを出さないと手当は支給されません。また、2年間出さないでいると手当を受ける資格がなくなります。



※具体的なご相談や問い合わせについては
健康福祉課児童係（☎86-0212）に
お願いします

高齢者虐待 のことを知ってください！

おじいちゃん、おばあちゃんの心に耳を傾けて

平成18年4月1日から「高齢者虐待防止法」が施行されました。

白鷹町ではより一層必要な支援を行うため、医師・警察・福祉関係者が委員となり、白鷹町高齢者虐待防止ネットワーク協議会を設置して、高齢者虐待の防止、介護者の支援に取り組んでいます。「もしかしたら…」と思ったら一人で悩まず、相談窓口に連絡してください。

○このようなことは高齢者への虐待です。

- ・身体的虐待……暴力をふるう。外部との接触を意図的に断つ。
- ・心理的虐待……言葉や態度で精神的な苦痛を与える。
- ・介護・世話の放棄・放任……介護や世話をしない。または結果として、していない。
- ・経済的虐待……財産やお金を勝手に使う。正当な理由もなくお金を使わせない。
- ・性的虐待……本人が嫌がる性的な行為やその強要。

●虐待している人に自覚はあるの？

虐待されている高齢者の約半数に自覚があるのとは逆に、虐待している人の約半数に自覚がないと考えられています。

「気づき」ではじまる第一歩。

あなたの身の回りでこのようなことはありませんか？チェックしてみましょう。

- | | チェック欄 |
|--|--------------------------|
| ①高齢者が食事をなかなか食べないので、介護者が無理やり口に入れる。 | <input type="checkbox"/> |
| ②徘徊を防ぐために部屋にカギをかける。 | <input type="checkbox"/> |
| ③ベッドから落ちないように、ベッドに縛りつける。 | <input type="checkbox"/> |
| ④認知症により異食などをするので、安静になる薬を多めに飲ませている。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑤失禁したことを責めたり、人前でそのことを話して高齢者に恥ずかしい思いをさせる。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑥高齢者に対して赤ちゃん語を使うなど、子どものように扱う。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑦高齢者が話しかけているのに、わざと無視する。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑧失禁した場合などに下半身裸で放っておくなど、罰を与える。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑨性的な行為を無理強いする。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑩日常的に必要なお金を渡さない。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑪高齢者をお風呂に入れておらず、異臭がする。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑫年金や貯金を本人に無断で使う。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑬水分や食事を十分に与えず、長時間空腹にさせたり、脱水症状があったりする。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑭部屋の中にごみを放置するなど、ひどい環境で生活させる。 | <input type="checkbox"/> |
| ⑮高齢者本人にとって必要な介護・医療サービスを理由なく制限する。 | <input type="checkbox"/> |

⇒ひとつでもあてはまる場合、白鷹町地域包括支援センターに相談してください。

●どのような人が虐待されているの？

女性や認知症の症状のある人が多いと言われています。

●虐待をしてしまうのはどのような人？

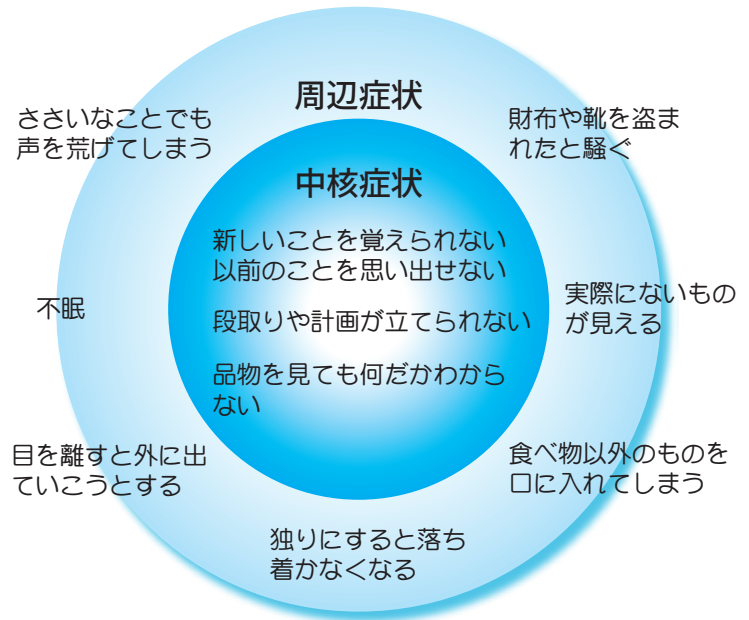
高齢者と過ごす時間が長い人ほど虐待に及ぶ傾向があります。



◆認知症でもあきらめないで

「トイレの場所がわからなくなる。」
「家に帰ると言って徘徊する。」などの症状が表れる認知症は、脳の病気によって記憶障害が起きたりすることが原因です。認知症は記憶障害や時間や場所の見当が付かなくなる「中核症状」と、それに不安やストレスが加わって起こる「周辺症状」があります。

*「周辺症状」は、環境や対応で改善（軽減）していきます。医師・ケアマネジャー・白鷹町地域包括支援センターなどと相談し、積極的に介護サービスを利用しましょう。



◆地域で支え合おう！気づいたらひと声かけて

虐待が起きる理由はさまざま、単純に虐待者が悪いとは言えないことが多いものです。また、終わりの見えない介護は、心身ともに本当に大変な重労働です。

ポイント1「あたたかく見守る」

介護が必要な高齢者のいる家庭を孤立させないように、高齢者や介護しているかたをあたたかく見守りましょう。家族と高齢者を家庭という「密室」に閉じ込めないよう、疎遠になったときほど声をかける姿勢が大切です。「おはよう」「こんにちは」のあいさつから始めましょう。

ポイント2「虐待かな？と気づいたら」

もし地域で虐待を疑うようなことに気づいたら自分一人で悩まず、どんな小さなことでも相談窓口ご連絡してください。虐待かどうかの見極めや実際の対応は、白鷹町地域包括支援センターに任せましょう。

ポイント3「地域で仲間づくり」

上手な介護方法を知ることや、愚痴を言い合える仲間を持つことも、介護を続ける大きなポイントです。

◆介護の負担を抱えこまないで

ポイント1「医師・ケアマネジャー・白鷹町地域包括支援センターなどに相談する。」

介護の苦勞を家族がわかってくれないのは、介護そのものより大きなストレスです。専門家と相談して、みんなで負担を分けあう方向に持っていくのもよいでしょう。医師、ケアマネジャー、地域包括支援センターなどには、相談者のプライバシーを守る義務があります。安心してご相談ください。

ポイント2「介護保険サービスを利用する。」

いつも顔を合わせているとお互いにストレスがたまります。日中に高齢者が施設に通うデイサービスや施設に泊まるショートステイなどの介護保険サービスを、上手に利用しましょう。



■高齢者虐待相談窓口
白鷹町地域包括支援センター（☎86-0112）

■児童に関する虐待等相談窓口
白鷹町子育て支援センター（☎86-0212）

地域の人びとへの感謝の気持ち、歌に込め

大泉静夫前中山小学校長 白鷹の曲を完成



あつた作詞・作曲をここにきて発揮することになるとは思わなかつたそうです。

書いた歌は、「中山まつり」。毎年8月15日に花火大会や盆踊りなどを中山地区の皆さんが主体となつて行つているイベントで、地域の皆さんががんばつてゐる姿が印象的で、そこからイメージをふくらませて書かれたということ。中山地区には、歌をつくるための素材と環境があつたとおっしゃいます。

敬老会での初めての歌の披露は、涙を流して聞いているお年寄りもおられたようでした。歌づくりを通して感じたことなどを中心に、先生にお話をお聞きしました。

赴任された初めての秋、歴代校長が敬老会でさまざまな出し物を披露して、楽しませていたということを知り、大泉先生は悩みました。そこで思いついたのが、歌を贈ることでした。学生時代の趣味で

きて良かった。」と話されていきました。

中山小在籍中につくられたもう一曲が、「さくら回廊 ゆめ紬」。お世話になつたのは中山地区だけではないとの思いから、白鷹町についての曲も書こうと思つたとのこと。中山小赴任よりも前から関心の高かつた白鷹の桜の古木や繊細な深山和紙の人形についてを盛り込まれました。特に中山小の展覧会で出品された紬を見て、おばあさんたちが昔の思い出を話している様子に心を打たれたそうで、その思いを表現したとのことでした。

編曲・歌・伴奏は、2曲とも古くからの友人である天童市在住の岡田吉春さんで、「中山まつり」の伴奏は、バンド仲間とともに行つてくれたとのこと。大泉先生は「2曲とも岡田さんという友だちがいなければできなかった。中山のかたがた、町のかたがた、先生がたなど、皆さんのおかげでできた曲です。」と笑顔で

寒河江市内の規模の大きい中学校におられ、その経験が大きかつたために、中山小学校に赴任当初は大きなギャップを感じたと言われます。しかし、「地域の皆さんや先生がたの支えにより、3年間過ごすことができました。地域を応援する歌として残すことがで

話されていきました。

最後に「最近では小さな学校は統合しているところが増えているが、わたしたちにとっては、小さい大きいは関係ない。その人数、その環境で、子どもたちを思い、できるかぎりのことを精一杯やるだけです。」と力を込められていました。その思いが、地域のかたがた・先生がたに伝わり、共感を得たのではないでしようか。

大泉先生は、次から次と3年間の思い出を感じたことを熱く語られるところが印象的でした。それだけ中山地区や町を大切に思つていただいていると感じました。ありがとうございました。



さくら回廊 ゆめ紬

いにしへの 香りをのせた花びらが
眉月に たわむれながら舞いおろる
迎えにくるといふ手数 袂にのばせて
入波の中に あのかつとをさがす
ああ ここは やまがた さくら回廊

母さんが 嫁いで涙で織り上げた
あのかつとが似合うと言つたこの紬
紅花の和紙でつくつた 花嫁人形に
私の明日を重ねて 夢見てた
ああ ここは おきたま ゆめ紬

結ばれぬ恋伝説を 抱くさくら
約束の日は 幾年も訪れる
最上の川風に 今宵もさくらが舞い踊る
もうすぐ出逢える ふたりを隠すように
ああ ここは しらかさ さくら回廊

作詞・曲 大泉静夫
編曲・歌 岡田吉春

中山まつり

遠く輝く朝日の嶺に
幼いあの頃 思い出す
白鷹山からおりてきて
柱清水に吹く風は

俺の 俺の心を やさしくふきぬける

月日は流れても変わらぬ古里は
季節を彩り待っていた
中山まつりの盆踊り

夏の夜空に咲く火花
老いた親父お袋 笑顔が目にしみる

街の暮らしに押しつぶされて
あの日の夢さえ忘れていた
中山まつりに集まつた

懐かしい顔あの声に
熱い 熱い心が もう一度よみがえる

作詞・曲 大泉静夫
編曲・歌 岡田吉春

9/17
(日)

新たな鼓動・新たな挑戦・そして新たな未来へ

この道ロードで走りたい！

第41回

白鷹若鮎マラソン大会



出場者募集

●コース

日本陸連公認第6691コース
スタート・ゴール 蚕桑小学校

●参加者募集

・健康で自分が希望するコースを完走できるかた。

・壮年男子の部は、平成18年9月17日現在で、満40歳以上のかた。

●参加料

高校生……………1500円
一般……………3000円

(2キの場合は、1500円)
小・中学生……………800円

●種目

ハーフマラソン(制限時間2時間15分)

一般の部

10マイル 一般の部(制限時間2時間)

10キ ①高校の部

5キ ②一般の部

3キ ①中学男子3年の部

2キ ②女子の部

1キ ③壮年男子の部

①中学男子1・2年の部

②中学女子の部

小学生以上

●申し込みめきり 8月11日(金) 消印有効



■申込・問い合わせ

教育委員会生涯学習・スポーツ推進係

「白鷹若鮎マラソン大会実行委員会 事務局」

☎85-6147 (直通) FAX85-2183

●白鷹若鮎マラソン大会にご協力を！「ボランティア運営スタッフ」募集…大会当日、大会運営(受付、記録証交付補助等)にご協力いただけるかたは、下記問い合わせ先までご連絡ください。また、大会当日、会場において売店等の出店をお考えの団体、個人のかたはご相談ください。

ポスト小泉を読む

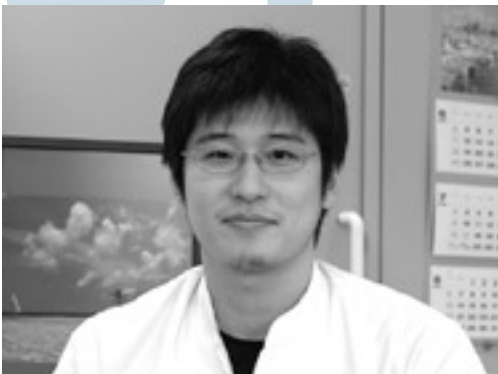
白鷹学講座「田勢康弘講演会」



6月17日、パワーセンターで、田勢康弘さんの講演会が開催されました。政治の裏話を交え、小泉政権により政治の景色が変わったこと、9月の総裁選の予想などをお話されました。トップに立つ人の条件は、その人の人格・生き方に周りから信頼を寄せられること。間違いがあれば一気に信頼は崩れる。また、新聞やテレビが報じることに疑問を持ち、自分の考えを持って政治を見ることが大切と話されていました。

若さで皆さんを元気づけます

町立病院外科に石山廣志朗先生が着任



石山先生の専門は外科です。県立中央病院から5月1日に赴任されました。「はじめまして。5月より町立病院外科に勤務することとなりました、石山廣志朗です。出身は河北町です。平成16年に自治医科大学を卒業し、2年間県立中央病院で初期研修を行いました。医師になってまだ3年目ですが、若いパワーで精一杯がんばっていきたいと思いますのでよろしくお願いします。」

初夏の深山の味と技

第5回のどか村まつり



6月25日、のどか村まつりが開かれました。オープン5周年を記念した、運営委員会と地元の皆さんによる手づくりの企画です。今年はさくらんぼの種飛ばし大会も行われ、子どもからお年寄りまでたくさんの笑い声に包まれました。これまで5年間、地元の食を通して県内外のかたがたと交流を広げるなど、多くの評価も得てこられました。今後も農村交流の拠点として、ますます活躍されることをお祈りします。

ボクのいちごが一番大きいよ

どりのいむ農園いちご園、園児に開放



6月12日、ひがしね保育園の園児たちがいちごもぎ取りを行いました。これは有限会社どりのいむ農園（代表取締役 田中良平さん）が、もぎ取る楽しみと町内の特産物を知ってほしいと、町内全保育園の園児にいちご園を開放したものです。子どもたちは、手からあふれるような大きな実を取り、笑顔いっぱいにはお張っていました。田中さんは、地域に貢献できる活動をこれからも続けたいと話されていました。

高玉芝居が文化財愛護

「川崎浩良賞」を受賞

この賞は、第1回齋藤茂吉文化賞を受けられた川崎浩良氏の基金等をもとに、県内における文化財保護団体の中で、その活動内容が優れているものを山形県文化財保護協会長が表彰するもので、今回が第20回目となります。

高玉芝居・高栄会（座長 鈴木啓さん）は、地元のかたの力によって長い間支えられてきた稀有の演劇集団であり、平成15年の国民文化祭への出演や、地域に根ざした活動により、庶民生活の中での人間愛の精神を表現し、多くの観客に感動を与えてきています。このような伝統芸能活動の功績により、このたびの受賞となりました。





白鷹土地改良区推進活動 こぐわ保育園園児が花の苗を植栽

6月12日、こぐわ保育園の園児が花の植栽を行いました。この活動は、白鷹土地改良区（理事長 丸川榮一さん）が土地改良事業推進活動の一環として、子どもたちに土と触れ合う場を提供し、水や植物の大切さを知ってほしいと行ったものです。今回はひまわり組27人が参加し、プランターにマリーゴールドなどの花の苗を植えました。プランターは保育園に設置され、今後は園児が水やりなどの管理を行います。



ライド ザ フューチャー サンシャイントライアル&トリッキング2006

6月17、18日、今年で22回を数える「サントラ」が開催されました。今年は3クラス約300人が参加し、白鷹スキー場を主会場として、白鷹の自然を相手にオフロードバイクで駆け巡りました。荒々しくセクションを攻める姿とは対照的に、ヘルメットを脱いだときのさわやかな顔は印象的でした。17日夜には畔藤田植え踊りも披露され、全国のライダーたちを楽しませました。スタッフの皆さんお疲れさまでした。

菅正男さん(横田尻)が東北地区 納税貯蓄組合連合会表彰受賞

菅さんは、長年にわたり納税貯蓄組合の普及育成に尽力され、本連合会の発展に寄与されました。

この功績により、このたびの受賞となりました。



第19回東北電力旗杯

置賜地区予選大会

6月24・25日/南陽市体育館
置賜地区内の小学生のバスケットボールチームが参加して行われた本大会の男子部門（15チーム参加）において、白鷹ミニバスケットボールスポーツ少年団（男子）が、見事準優勝となりました。7月に開催の県大会に出場します。

人権擁護委員

7月1日付けで金田捷夫さんが、法務大臣より人権擁護委員に委嘱されました。

平成18年度白鷹町消防団操 法大会の結果

7月2日

ソフトボール場駐車場

各分団代表の班が出場し、スピードある動きとともに、一つひとつの確実な操法技術を披露しました。日ごろ昼夜問わず訓練が行われてきた成果をこの大会で出し切りました。断続的に大雨となった厳しいコンディションの中での競技となりましたが、すべての班が転倒もなく、競技を終えることができました。

上位入賞の班の皆さんおめでとうございます。

*ポンプ車の部1位と小型ポンプの部1位と2位は西置賜支部大会に出場します。



■ポンプ車の部

1位 1分団1部1班(東高玉)
(出場者:今野勉、児玉秀朗、本木栄次、今野友博、金田規嗣、高橋賢一)



2位 4分団1部1班(萩野)
3位 5分団4部1班(浅立)

■小型ポンプの部

1位 1分団5部6班(山口)
(出場者:片倉武美、岡部典、中川大嗣、漆山剛、菅悟)



2位 2分団4部1班(深山)
(出場者:樋口知一、羽田英樹、樋口一弥、樋口和貴、横沢和毅)
3位 1分団4部3班(東田尻)

フラワー長井線を活用した“まちづくり”事業を応援します！

マイルールサポート事業募集中！

「フラワー長井線の利用拡大」のため、アイデアをお聞かせください。
フラワー長井線利用拡大協議会では、“地域の足であるフラワー長井線を地域のアイデアで支える”マイルール・サポート事業を募集しています。フラワー長井線の利用拡大を目的とした事業に対して10万円を上限に支援します。

この事業は、長井線と沿線地域の観光資源を結びつけて地域活性化とまちおこしを図り、「駅前のにぎわい」を創出するものです。フラワー長井線にこだわり、愛着を寄せる団体の皆さん、ぜひご応募ください。

内容

- (1) 平成19年3月31日までに実施及び完了し、「マイルール意識の高揚」や「列車イベントの運行企画」、「利用拡大広報」など、テーマ及び題材が本協議会の目的と一致する事業に対して支援費を交付します。
- (2) 支援費は、事業実績額の範囲内とし、原則10万円を上限とします。
- (3) 支援対象事業がすべて完了後、合同報告会を開催する予定です。

申請方法

- (1) 申請期間 平成19年2月28日(水)まで随時受け付けます。
- (2) 申請書類等
 - ①申請書
 - ②団体の概要説明書(任意様式、紹介パンフレットなどでも可能。)
 - ③実施事業の内容がわかる資料
(参加募集広告やパンフレットなどがあれば添えてください。)
- (3) 申請と問い合わせ
フラワー長井線利用拡大協議会
〒992-0892 白鷹町大字荒砥甲833 役場政策改革課内(☎85-6123)
E-mail: seisaku@so.town.shirataka.yamagata.jp(政策企画係あて)

※詳しくは、実施要綱をご覧ください。お問い合わせください。

※なお、実施要綱と申請書は、政策改革課、フラワー長井線沿線各市町、山形鉄道株式会社に準備しています。



●平成17年度は、次の7団体が事業を実施しました。

- ①あのねのねフェスティバル(宮内駅前商店会)
- ②夕鶴の里リードキャンペーン(民話会ゆうづる)
- ③映画プロデューサー関口大輔、榊井省志が語る「スウィングガールズ塾」(白鷹町商工会青年部)
- ④2005みちのく押し花合同展示会(2005みちのく押し花合同展示会実行委員会)
- ⑤巨大壁画を活用したフラワー長井線利用拡大事業(社団法人長井青年会議所)
- ⑥ビデオ「君の瞳を忘れない」の制作(山形県立長井高等学校生徒会)
- ⑦「スウィングガールズ」を契機とした利用拡大支援事業(スウィングガールズおきたま応援隊)

フラワー長井線利用券(特殊回数乗車券)を購入いただきました。ありがとうございます。

4月中旬に町内会と隣組を通じてフラワー長井線利用券(特殊回数乗車券)の購入をお願いしましたところ、たくさんの皆さまにご協力をいただきました。おかげさまで566枚のご協力をいただきました。これもひとえに、町民の皆さまがフラワー長井線の利用拡大を望む気持ちの表われと、心より感謝申し上げます。今後とも、利用の拡大に對しまして、皆さまのご協力をいただくことをお願いし、ご購入と取りまとめのご協力に對しての御礼に代えさせていただきます。

フラワー長井線利用拡大協議会
白鷹町長 橋本光記
※フラワー長井線利用券は、荒砥駅・役場政策改革課で販売しておりますので、ぜひご利用ください。

■問い合わせ 政策改革課
策企画係(☎85-6123)

荒砥鉄橋の歴史を探り、

未来を描きます

「荒砥高校」「荒砥鉄橋研究所」設立

6月23日、荒砥高校で「荒砥鉄橋研究所」の設立総会がありました。この研究所は、フラワー長井線に架けられた「山形鉄道最上川橋梁」通称「荒砥鉄橋」の魅力を将来にわたって伝え続けるために、荒高生が中心となって鉄橋に関わるさまざまなことを調査・研究・発信の活動を行う目的で設立されました。

荒砥鉄橋は、明治21年に東海道本線木曾川初代橋梁としてイギリスから輸入・架設していたものを、大正12年にここ最上川に短縮改良して設置したのが始まりです。120



年前につくられた鉄橋は、赤錆を身にまといながらも今も現役として活躍しており、白鷹町や町民とともに歴史を歩んできたシンボルとして、また土木文化財産としても貴重なものです。さらに、荒砥高校創立から数多くの生徒を見守り続けており、卒業生には原風景として深く心に刻み込まれています。このように、荒砥鉄橋は永い歴史と多くの人びとの思い出を刻み込みながら、過去と未来の橋渡しをしています。研究の成果と魅力を広く地域に発信し、地域の教育力をいただき、交流の輪を広げながら地域振興やフラワー長井線存続運動、さらには荒砥高校の飛躍・発展に努めていきますのでご理解・ご支援をよろしくお願いたします。

7月24日より

稻荷ヶ丘町民プールを一般開放します

● 開放期間

7月24日(月)～8月21日(月)

* 7月27日(木)は、第43回白鷹町小・中学校及び町民水泳大会のため一般開放はいたしません。
* 8月13日(日)は休ませていただきます。

● 利用時間

午前9時～午後4時30分

* 正午から午後1時まで施設は、閉場します。
* 東中学校水泳部活動により一般利用を制限させていただく場合がございますので、ご了承ください。

● 注意事項

◇ 幼児が利用するときは、必ず保護者のかたが付き添ってください。
◇ 入水前には、体をよく洗ってください。



◇ プールでは、騒いだりふざけたりしないでください。
◇ 監視員の指示には、絶対に従ってください。
◇ 持ち物には、必ず名前、学校名を書いてください。
◇ 毎年忘れ物がたくさんあります。忘れ物がないようにご注意ください。後日処分させていただきます。
◇ 注意事項を良く守り、事故が起きないように利用しましょう。

■ 問い合わせ 教育委員会
生涯学習・スポーツ推進係
(☎ 85-6147)

第1回蔵王坊平全国ジュニア駅伝競走大会(兼)第9回山形県ジュニア駅伝競走大会及び第31回蔵王坊平クロスカントリー大会の開催

白鷹町の小・中学生により

編成された白鷹町男子、女子チームが出場します。関係者、ご父兄のご協力のもと、大会に向けて練習を重ねてきた選手皆さんのがんばりに対し、大きなご声援をお願いします。

▼ 期日 8月6日(日)

▼ スタート時間

○ クロスカントリー

小学生男子 午前10時

小学生女子 午前10時3分

中学生男子 午前10時25分

中学生女子 午前10時30分

○ 駅伝女子 昼12時30分

○ 駅伝男子 午後1時35分

※ その他の種目についてはお問い合わせください。

▼ 会場 上山市蔵王高原坊平

クロスカントリーコース

(スタート・フィニッシュ

蔵王グリーングラウンド)

▼ 観客用駐車場 蔵王猿倉イ

ベントパーク(会場まで無料

シャトルバス運行)

* 応援のかたはできるだけ乗

り合わせにご協力ください。

■ 問い合わせ 教育委員会

生涯学習・スポーツ推進係

(☎ 85-6147)



白鷹学講座

●生涯学習講座・・・

生涯学習講座として「白鷹を学ぶ・白鷹で学ぶ・地域づくり・ひとづくり」を合いこ
とばに「白鷹学講座」を開催
しています。これは、町民の
皆さん自らが企画実践する講
座として、テーマの選定、講
師の発掘、運営方法の検討、
周知など企画委員が行って
います。現在は20代から50代
まで21人が活動しています。

●企画委員会・・・

講師の先生との交流は、企
画委員による手作り懇談会。
白鷹の「句と豊かさ」をお伝
えしたいと、とても和やかな
もてなしが展開されています。

今年度の「白鷹学講座」 「文化力で地域の活性化～感動を共有していく地域づくり～」



田勢康弘氏

- ①田勢康弘氏講演会
（早稲田大学大学院公共経営研究科教授
・日本経済新聞客員コラムニスト）
「ポスト小泉を読む」6月17日（土）☆開催済み



小松伸子氏

- ②「民族信仰 草木塔への願い
～草木塔・路傍の石仏・石塔めぐり～」
講師 江口儀雄氏 8月26日（土）午前7時～11時



おすぎ氏

- ③落語「しらたか寄席」
古今亭菊寿さん & 古今亭志ん輔さん
9月18日（月）午後2時～
- ④中奥良則氏講演会
総務省地域再生マネージャー
「文化力で地域の活性化～感動を共有していく地域づくり～」
11月17日（金）午後7時～8時50分

- ⑤小松伸子さんと秋を歌おう
11月18日（土）午後7時～8時30分
- ⑥おすぎさんのシネマトークと映画上映会
11月25日（土）午後と夜の2回 映画未定



香山リカ氏

- ⑦影絵劇場 劇団かかし座「星の王子さま」（日程調整中）
- ⑧男女共同参画事業
・パートⅠ 板本洋子氏講演会（日程調整中）
日本青年館結婚相談所所長
- ⑨男女共同参画事業
・パートⅡ 香山リカ氏講演会
精神科医、帝塚山学院大学人間文化学部教授
平成19年3月17日（土）午後2時

☆内容等変更になることもあります。詳細が決まり次第お知らせします。
☆すべて整理券（または事前申込み）が必要です。（一部有料です）

「白鷹町で落語が見たい」「草
木塔を調べたい」という企画
委員会での話し合いが、実際
に今年度事業として計画され
ました。

●今年は・・・

「草木塔」を通して、先人達

の祈りに思いをさせ、自分た
ちの住んでいる町を知りたい
と計画した「民族信仰 草木
塔」への願いや「しらたか
寄席」「影絵劇場」「秋を歌お
う」など、芸術活動の体感メ
ニューを充実しています。さ
らに、男女共同参画推進事業

として香山リカ氏・板本洋子
氏講演会を計画しています。
今、あらためて文化力を高
めることの必要性を見つめ直
し、自らの活動によって文化
の芽生えや成長が体験でき、
感動を共有していく地域づく
りへのきっかけになればと思

っています。

皆さま、ぜひご参加くださ
い。企画委員も随時募集して
います。一緒に活動いただけ
るかた、ぜひご連絡ください。
ご要望・お問い合わせは教育
委員会生涯学習・スポーツ推
進係まで（☎85-6147）

映画「折り梅」上映会

▼いつ 7月23日（日）

午後1時30分

▼どこで パワーセンター

▼入場券

・一般前売1000円

（当日1200円）

・中学生以下600円（当日

のみ）

●主催 町婦人会・教育委員

会



■チケットのお求めは教育委
員会へ（☎85-6147）

環境コーナー

美しい郷づくり推進会議

～新体制でスタート～

白鷹町環境基本計画の推進母体である「美しい郷づくり推進会議」が、平成18年度より組織体制を新たにスタートしました。今年度より「白鷹町省エネルギービジョン」の推進が新たな事業として加わり、「ごみの減量」と「省エネルギー」の二つを大きな柱とし活動を行うこととなります。平成6年度からごみの減量とごみ集積所の監視等でご尽力をいただいている廃棄物減量等推進員には、この会議のメンバーが当たることとなります。これまで同様、地域内でのごみの出し方の指導や啓発活動、さらには省エネ推進などの重要な役割を担っていただきますので、地域の皆さまのご協力をよろしくお願ひします。

白鷹町美しい郷づくり推進会議委員 (H18.4.1～H20.3.31)

	氏名	地区		氏名	地区
①	長谷部照昭	蚕桑	11	横山直広	荒砥
2	照井クニ	蚕桑	⑫	渋谷佐次郎	十王
3	加藤仁美	蚕桑	13	梅津一久	十王
④	芳賀勝	鮎貝	14	高山耀子	十王
5	斎藤俊子	鮎貝	15	熊坂勝則	十王
6	樋口金一郎	鮎貝	⑬	川部盛繁	鷹山
⑦	坂田満子	荒砥	17	山田静	鷹山
8	高野節子	荒砥	⑭	志田修	東根
9	安部進	荒砥	19	新野好男	東根
10	山口伊都子	荒砥	20	菅原庄市	東根

※番号に○が付いているかたは地区推薦委員です。

びんの資源回収はコンテナに寝かせてください

びんの資源回収は月1回のペースで行っています。各集積所に収集日の前日にコンテナが配置されますので、ごみカレンダーに記載されているとおり、そのコンテナにびんを横に寝かせて入れていただきます。時折、びんを立てた状態で出されることがありますが、運搬のとき、支障が出ますので、びんは立てずに寝かせて出してくださいようお願いいたします。

また、ビールびんや酒の1升びんが集積所に出されることとなりますが、なるべく酒屋さんに出してくださいようお願いいたします。集積所に出されたびんは一度溶かしてから再製品化されますが、酒屋さ

んで回収した場合はそのまま繰り返し利用することができ、再生過程でのコストや環境への悪影響が少なくて済みます。

☆びんの出し方のポイント

- *王冠やキャップは外して中を水洗いしてください。
- *ラベルははがす必要はありません。
- *袋に入れないで、びんだけを出してください。
- *集積所のコンテナに寝かせて出してください。
- *ビールびんや酒1升びんは酒屋さんに出してください。
- *割れたびんは紙に包んで不燃ゴミへ。
- *油びん、農薬びん、化粧品、ドレッシングびんは、簡単に汚れが落ちないので不燃ゴミへ。

無記名ごみに困っていませんか？ごみは居住地域の集積所へ！

荒砥仲町3町内に設置している集積所に、地区外のかたが無記名でごみを置いていくため、その後の処理に地域のかたが困っている状況があります。これは仲町に限ったことではなく、国道沿いの車の通りが多いところの集積所などでも確認されています。ご承知のとおり、無記名で出されたごみは収集されずに取り置きになりますので、町内のかたが後で処理しなければならなくなります。地域の集積所は各町内の予算と労力で管理いただいているものですので、居住地以外の集積所には絶対に出さないようお願いいたします。

ごみは自らの責任でルールに則り処理をするという基本を身に付けていきたいものです。

集積所でのびんの出し方

良い例



悪い例



ウォーキング特集！

〔みんなでつくる健康な町づくり〕

健康づくりに運動は不可欠です。しかし、一言に運動と言っても多種多様で何をすれば良いのか迷っている人も多いはず。無理せず、楽しく体を動かせば、心も身体もリフレッシュし、結果的に健康づくりにつながるのではないのでしょうか。先日、山形新聞や広報しらたか5月12日号に掲載されたフットパスは「歩くことを楽しむための小道」という意味のウォーキングコースです。ただ黙々と歩くのではなく、周りの景色を楽しみ、時には立ち止まり写真を撮ったりと、個人個人の楽しみ方が無限大に膨らんでいるのです。整備された道だけがフットパスではありません。田んぼのあぜ道でもカエルの声に耳を澄ましながら静かに歩く。そんな季節感たっぷりのフットパスを、ぜひ体験してみてください。“何km歩かなければいけない”ではなく、“ちょっとあそこまで、あの花を見に歩いてみようかな”こんな気持ちになれば、心も身体も健康そのものです。



ニコニコ掲示板

《歩きの流儀》

健康づくりのために「実行している」または「今後実行したい」と多くの人が言う。しかし、ただ漫然と歩いてしまうと健康を損なうことにも。そこで歩き方の流儀を知ることが大切。体調、服装、シューズ、姿勢、水分補給、ウォーキング前後の準備・整理体操など正しい知識を身に付けて、さあ街に野に、一步を踏み出そう。

今月の？数字 1万歩

健康増進計画「健康日本21」の2010年までの目標値です。1日1万歩を歩くのはとても難しいことと思われがちですが、いつもよりプラス1000歩から始めてみてはいかがでしょうか？1000歩＝約600m～700m、時間にして約10分位です。

フットパス整備ルート地図



元気ニコニコウォーキング

～いっしょに、歩きませんか～

元気ニコニコ推進会議の実践事業として、心と身体の健康を考え、みんなで楽しく歩こうとスタートした『元気ニコニコウォーキング』も回を重ねるごとに新たなメンバーが加わり、ワイワイガヤガヤと楽しい活動を続けがんでいます。みんなと一緒に始めたウォーキングが日常の歩く習慣になり、生活習慣病の克服に役立てば最高です。朝のすがすがしい空気を吸いながら、新たな出会いと発見があるはず。毎月1回歩くコースが違います。興味のあるかたは健康福祉課（☎86-0120）までお問い合わせください。

毎月1回歩くコースが違います。興味のあるかたは健康福祉課（☎86-0120）までお問い合わせください。

フットパス体験談

〔約9.5Km 13,000歩完歩！〕

4月23日(日)、できたてほやほやの「白鷹フットパス」を歩きました。荒砥駅からあゆ茶屋までの往復です。歩くことができるか大変心配しましたが、ウォーキングリーダーのおかげで脚に疲れが残りませんでした。青空、西山の残雪、最上川の流れ、すべて素晴らしく自然を楽しみながら歩くことでリフレッシュできました。これからも、季節を楽しみながら、歩いてみたいと思います。

歩くことは健康への第一歩。みんなで歩けば元気ニコニコ！

“元気ニコニコしらたか21”を町民と行政が協働で推進しています！（元気ニコニコ推進会議）



野菜畑を見に行つて

子ども「せんせい カボチャあつき
 くなつたね。」(葉を見て)
 保育士「すごい大きい葉っぱだね。」
 子ども「どうして取つたらいいの
 かなー」
 子ども「あのよ、大きなかぶみたい
 にみんなで引つぱると、大丈
 夫だね。」
 保育士「そうだね。」
 子ども「楽しみだね。」

空を見上げて

子ども「あつ 怪獣だあ。」
 保育士「えっ どこにいるの？」
 子ども「あそこ。」(空を指さす)
 保育士「あっ見えた」
 子ども「へび出てきたあ。食べられ
 たあー」
 保育士「かわいそうだね。」
 子ども「……。」

白鷹パークゴルフ場公認コース認定記念

第1回 町長杯親睦大会

出場者募集!

7月23日(日)午前9時30分～
 白鷹パークゴルフ場

●日程

午前9時30分～ 受付・フリー練習
 昼12時30分～ 開会式・競技スタート
 午後5時～ 表彰式・懇親会

●参加費 男性5000円、女性4500円

(大会費、プレー費、昼食、懇親会費)
 *懇親会不参加のときは、男女とも1500円
 *パレス松風の温泉入浴は無料
 *貸しクラブは無料(要申込)

●競技方法

36ホールストロークプレー
 (こぶし2回・さくら2回)
 同スコアの場合、こぶし2回目スコア、さくら2
 回目スコアの順で決定。

●参加資格

白鷹町民のかたはどなたでも(初心者歓迎)
 その他、白鷹町に勤務するかた、白鷹町パーク
 ゴルフ協会、白鷹パークゴルフ場コース会員

●表彰(男女それぞれ)

○優勝者:優勝カップ、賞状及び豪華賞品
 ○準優勝者・第3位・ブービー賞:賞品
 ○その他:飛び賞、参加賞あり
 ○特別賞:ホールインワン賞

●申込方法

パレス松風または白鷹町パークゴルフ協会役員に
 申し込んでください。

●締め切り 7月19日(水)

■問い合わせ パレス松風(☎85-1001)

「町報川柳」 白 新野三拍子 選

佳作 平和とは白いご飯が食べられる

共白髪 苦難の跡が見え隠れ

白足袋がピタリと決めた舞姿

白よりもピンクが着たいお年頃

白壁が昔の栄華語り継ぐ

血圧が白衣見つめて高くなる

白サギが青田に下りる平和な絵

白を黒 黒を白だとへそ曲がり

白い雲見上げ宇宙に夢を追う

白寿まで脳も元気で居てほしい

白旗は決して上げぬ土根性

白黒の写真無邪気な友の数

白羽の矢立つまで老いを楽しもう

色白が七難かくす目鼻立ち

まだ余白夢の続きを残したい

分身の白髪いとおし朝の櫛

検診は白の判定 旨い酒

白球を追う少年の瞳の光り

白銀を緑に変えるエネルギー

白粉を忘れて夫と陽に焼ける

面白く生きる工夫をして二人

傷ついたところ癒して白い花

弱点を補いながら共白髪

白地ですあなたの色に染まります

嫁ぐ日の孫のドレスが白く舞う

淡白な味で健康管理され

白線に立つと戦う貌になる

告白もせず面影を抱いたまま

真つ白な画布に青春ぶつつける

余白まだ燃える夢あり虹を追う

次回課題 「金」 七月末日まで 「家」 八月末日まで
 一題三句はがきにて 届先 白鷹町荒砥乙四九四 菊地克二まで

荒砥甲	荒砥甲	鮎貝	荒砥乙	十王	浅立	鮎貝	十王	畔藤	十王	畔藤	鮎貝	折居	畔藤	畔藤	長野県	浅立	荒砥乙	鮎貝	荒砥甲	荒砥甲	鮎貝	世田谷	荒砥乙	横須賀	滝野	高玉	鮎貝	浅立	ふじみ野
横山	丸山	土屋	高橋	川部	小形	赤間	守谷	梅津	志鎌	川井	植木	海老名	堀内	梅津	坂本	高橋	熊坂	横沢	井澤	五十公野	遠藤	大滝	大滝	海老名	高橋	五十公野	梅津	村上	
三拍子	陽子	文香	白兔	隆雄	義三	道雄	三郎	とも	三郎	千代	英夫	芳夫	いと	静子	とみ	鷹史	灯一	直太	佐子	八重	栄子	健次郎	達夫	朝子	野忍	たつ	桂造		

INFORMATION

情報

あらかると

役場は ☎85-2111



第12回白鷹紅花まつり

- ▼いつ 7月15日(土)～16日(日) 午前10時～午後4時
- ▼どこで 滝野交流館(旧滝野小学校)、萩野大日堂
- ▼演舞
 - ・花柳千優良舞踊団
 - ・和太鼓紅
- (15日午前11時及び午後1時)
- (16日午前11時及び午後1時)

- ・畔藤田植え踊り (16日午前11時萩野大日堂)
- ▼体験・展示
- ①体験 白鷹紬機織り、紅花染め、紅花リースづくり、紅花ハガキづくり
- ②展示 紅花生け花の展示

▼その他

- ・写真コンテスト
- ・紅花の山里を歩く
- ・たきの野外彫刻展
- ・地元滝野手打ちそば
- ・紅花を使った食品販売
- ・萩野大日堂で、先着200人まで紅花プレゼント

- 問い合わせ 産業振興課観光交流係 (☎85-6126)
- ／町観光協会 (☎86-0086)

元気ニコニコウォーキング

- ▼いつ 7月23日(日) 午前6時～8時30分(午前5時45分集合)
- ▼集合場所 スピカ駐車場
- ▼コース 紅花畑周遊コース(スピカ～十王上野～滝野～萩野～スピカ)

▼内容 朝露にぬれる紅花を観賞しながら、紅花畑周遊コースを歩きます。

*申込みは不要。当日お集まりください。

- ▼次回開催 8月20日(日) 白鷹林道コース(予定)
- 問い合わせ 元気ニコニコ推進会議事務局(健康福祉課健康推進係・☎86-0210)

介護者交流会のご案内

介護者の皆さん、交流会に参加しませんか。忙しい介護から一時的に離れ、介護者同士の交流を持ちリフレッシュしましょう。

▼日程とコース

- 【1日コース】
- ①8月31日(木) 上山温泉
- ②10月15日(日) パレス松風
- 【1泊2日コース】
- ①9月7日(木)～8日(金) 温海温泉
- ②9月27日(水)～28日(木) 蔵王温泉
- ③10月26日(木)～27日(金) 白布温泉

▼参加対象

次のかたを介護している介護者です。

- ①要介護4または5に相当するかた
- ②認知症のある高齢のかた

(日常生活自立度Ⅲ以上)

▼参加費 原則として全額を助成します。ただし、介護を受けているかたが短期入所等

を利用する場合は、一部負担をしていただくことがあります。

*参加するために介護が必要なかたはご相談ください。また、介護認定を受けていなくても参加条件に該当するようなかたは、お申し出ください。

- 申込・問い合わせ 健康福祉課 地域包括支援センター (☎86-0112)

元気な60代を過ごすための健康教室

第二の人生をより楽しく、充実するための心とからだの健康づくりを行う教室です。12月まで全6回を予定しています。

- ▼いつ 7月26日(水) 午後7時30分
- ▼どこで 荒砥地区公民館
- ▼内容

○開校式

○講演「心とからだのリフレッシュタイム～人生いつも泣き笑い」

講師 我妻淳一さん(ヒューマンメンタルヘルス研究所あこころ所長)

*2回目以降は、医師の講演、健康づくりのための運動などを行う予定です。

*詳しくはお問い合わせください。

- ▼対象 50代後半から60代前半のかた
- ▼参加費 1000円(一部実費徴収あり)
- ▼申込方法 荒砥地区公民館へ電話等で申し込みください。
- ▼締め切り 7月20日(木)
- 問い合わせ 荒砥地区公民館 (☎85-0260) 元気ニコニコ推進会議事務局(健康福祉課健康推進係・☎86-210)

第56回社会を明るくする運動住民集会

犯罪のない明るい社会をつくるため、住民集会を開催します。

- ▼いつ 7月18日(火) 午後1時30分～3時30分
- ▼どこで 健康福祉センター
- ▼内容

- ①ビデオフォーラム「二つの道」
- ②講演「共感の中から」

講師 菊地豊宗さん(瑞岩寺住職)

▼主催 保護司会・更生保護女性会

■問い合わせ 健康福祉福祉係 (☎86-0111)

しらたかの音楽映画塾

▼いつ 8月5日(土)～6日(日)

▼どこで パワーセンター及び町内

▼内容 「おかひじき」を食材にした漬物など

▼参加費 一人500円(食材代)

①映画×トーク
「タイムグラバあちゃん」
「東京原発」

②塾
「Shall weダンス？」など

「房之助自転車塾」
「関口塾」：プレイブストーリー制作秘話

「小室塾」：みそづくり
▼入場料

映画×トーク&ライブ
・一日前売券2500円
(当日券3000円)

▼塾参加料 2500円
*詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ しらたかの音楽映画塾実行委員会(☎86-1516)

山形おきたま伝統野菜料理教室

伝統野菜として昨年度認定された9品目を食材にした料理教室です(全3回)。

▼いつ 7月31日(月)午前

9時30分～午後1時

▼どこで JAおきたま宮内支店

▼内容 第1回「薄皮丸なす」「おかひじき」を食材にした漬物など

▼参加費 一人500円(食材代)

▼募集人数 各回30人(先着順)

▼募集期間 7月18日(火)～26日(水)

■問い合わせ 置賜総合支庁農業振興課農産園芸担当(☎0238-26-6051)

てんかん講演会

▼いつ 7月22日(土)午後1時30分～4時15分

▼どこで 国立病院機構山形病院附属看護学校(山形市)

▼参加費 無料
*当日会場へ直接おいでください。

▼講演内容
①「てんかんのリハビリ」
講師 久保田英幹さん(静岡てんかん・神経医療センター診療部長)

②「障害者自立支援法」
講師 杉江拓也さん(厚生労働精神保健課課長補佐)

※会場で「てんかんの書籍」

の展示販売を行います。

■問い合わせ 独立行政法人国立病院機構山形病院管理課(☎023-684-5566)

白鷹九条の会学習会

どなたでもお気軽にご参加ください。

▼いつ 7月15日(土)午後7時～

▼どこで 荒砥地区公民館

▼内容 「靖国問題を考える」
▼参加費 300円

■問い合わせ 白鷹九条の会 正田(☎85-5675・FAX可)

山形の魅力再発見講義

山形がはぐくんできた文化、芸術、科学技術を、学問の観点から掘り起こし、受講者の皆さんと学びます。山形大学教授が講義します。

▼対象 県民のかた(定員30人)

▼受講料 6000円(2回目は昼食代1500円別途必要)

▼講義予定(全3回)
◎9月16日(土) 山形大学人文学部

①「山形の地域経済」
②「仮想表象空間やマガタの

挑戦

◎9月30日(土) 山形大学農学部(バスで鶴岡へ)

①解説・見学 出羽三山神社 齋館精進料理(昼食)

②「出羽三山の歴史」
③「在来作物から見た山形の食文化と歴史」

◎10月7日(土) 山形大学人文学部

①「山形の酒造り」
②「元気な山形の産学官連携」

③「糖尿病―忍び寄る危険―」
▼主催 山形大学都市・地域学研究所

▼募集期間 9月10日(日) ※申込方法など詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ 山形大学人文学部総務係(☎023-628-4203)



西置賜行政組合職員採用試験

▼職種及び採用予定人員

西置賜行政組合初級消防職 2人

▼受験資格 長井市、小国町、白鷹町、飯豊町の居住者また

は当該地域に居住する予定のかたで、昭和56年4月2日以降に生まれ、高校卒(平成19年3月卒業見込みのかたを含む)以上の学歴を有するかた。

▼採用予定日 平成19年4月1日

【試験について】
▼期日 9月17日(日)

▼会場 長井南中学校

▼内容
・一次試験 教養試験、作文試験、適性試験(筆記)
・二次試験 体力試験、人物試験

【申込受付】
▼期間 8月1日(火)～8月15日(火)

▼時間 午前8時30分～午後5時(土曜、日曜、休日を除く)

▼場所 西置賜行政組合事務局(長井市)

▼申込用紙の請求 西置賜行政組合事務局、消防本部、消防署または各分署まで

■問い合わせ 西置賜行政組合事務局(☎88-4336)

狩猟免許初心者講習会

これから新たに狩猟を希望するかたに、狩猟免許試験の事前講習会を開催します。

◎9月16日(土) 山形大学人文学部

①「山形の地域経済」
②「仮想表象空間やマガタの

◎9月16日(土) 山形大学人文学部

◎9月16日(土) 山形大学人文学部

▼会場・日時

①山形会場（林業会館）

8月5日（土）午前9時～午後4時30分

②庄内会場（庄内総合支庁）

8月10日（木）午前9時～午後4時30分

▼受講料 7000円（講師料、テキスト代等）

▼申込方法 受講を希望する日の5日前まで、山形県猟友会または猟友会の各地区支部に受講料を添えて申し込んでください。

■問い合わせ 山形県猟友会（☎023-624-0382）

平成18年度危険物取扱者保安講習会

3年毎に講習を受講しなければ、免状の返納を命ぜられる事がありますので忘れないうで受講してください。受講対象者は、危険物取扱作業に従事している危険物取扱者です。

▼いつ

①給油取扱所 9月1日（金）午前9時～昼12時

②一般講習（給油取扱所以外）

1回目 8月31日（木）午後1時30分～4時30分

2回目 9月1日（金）午後1時30分～4時30分

【募集説明会】

▼どこで 西置賜行政組合消防本部

▼受付期間 7月21日（金）～8月11日（金）

▼受講手数料 4700円

※受講申請書は消防本部、消防署または各分署に準備しています。

■問い合わせ 消防本部予防課内西置賜危険物安全協会事務局（☎88-1797）

防衛庁自衛官募集

【一般曹候補学生】

▼対象 18歳以上24歳未満の男女

▼試験期日 9月16日（土）

【曹候補士】

▼対象 18歳以上27歳未満の男女

▼試験期日 9月16日（土）

【2等陸海空士】

▼対象 18歳以上27歳未満の男女

▼試験期日 9月24日（日）

・25日（月）

【共通】

▼試験科目 国・数・英・作文、口述試験及び身体検査

▼対象 3月下旬から4月上旬に陸・海・空の部隊へ入隊できるかた

【募集説明会】

▼日時 7月23日（日）午前10時～昼12時

▼対象 自衛官（陸海空）に興味のあるかた及びご父兄

■申込・問い合わせ 自衛隊米沢募集事務所（☎0238-23-0011）

パソコンボランティア養成講座

在宅の障害者のかたがたのためにパソコンや周辺機器、ソフト等の使用方法のサポートをするボランティアを養成する講座です。

▼いつ 8月5日（土）、6日（日）、19日（土）、20日（日）午後1時～5時

▼どこで 山形県身体障害者福祉会館（山形市）

▼参加料 無料

▼内容 講義と音声ソフトを利用した実技

▼定員 10人

▼申込期限 7月31日（月）

※定員になり次第締め切り

■申込・問い合わせ 山形県身体障害者福祉協会（☎023-686-3690）

白鷹アートスクール参加者募集

社会・生涯教育向けに教室を開きます。

「禁煙診療」のお知らせ

町立病院では、禁煙のための診療を行っています。

- 診療日時 毎週木曜日 午後5時～午後6時
- 受診方法
 - ・予約制ですので、町立病院へご連絡ください。
 - ・予約されたかたに関係書類を送付します。
 - ・予約及び診療は、外科外来で行います。
- 注意事項
 - ・初回受診は約30分かかります。
 - ・受診時に次回の予約を取っていただきます。
 - ・合計5回（8週間）の外来通院となります。

■予約・問い合わせ 白鷹町立病院（☎85-2155）



▼どこで 滝野交流館（元滝野小学校）

▼造形教室

・日時 毎週水曜日、午後4時～5時

・費用 月2000円（材料費含む）

・対象 5歳～小学校低学年

▼絵画教室

・日時 毎週水曜日、午後6時～8時

・費用 月4000円（材料費別）

・対象 小学校高学年～成人

☆アートスクールにスタッフとしてご協力いただけるかた同時募集します。

お知らせ

斎場の利用ができませんのでご注意ください！

斎場への送電ケーブルの張り替え工事に伴い、7月26日（水）午前9時から正午まで、斎場の利用ができなくなりま

けます。

■問い合わせ 町民税務課くらし・環境推進係 (☎85-6131)

「平成18年6月長雨土砂災害義援金」にご協力ください

日本赤十字社では、6月の長雨土砂災害で被災されたかたがたのために、義援金を受け付けています。皆さまのご協力をお願いします。

なお災害義援金は、税制上の優遇措置(所得税及び住民税の寄付金控除、法人税の全額損金算入)の対象になりません。

▼受付期間 7月18日(火)まで

▼受付場所 日本赤十字社白鷹町分会(健康福祉センター内) ■問い合わせ 事務局/健康福祉課福祉係(☎86-0111)

7月は「青少年の非行問題に取組む全国強調月間」です

青少年をめぐる状況は、児童虐待事件や少年が被害者・加害者となる事件が続発するなど、依然として心配される状況にあり、子どもを非行に走ることなく健全に育成することは重要な課題となっております。

ます。

このため、内閣府では7月を強調月間とし、有害な環境を改善していく活動など、関係機関や団体、地域住民等と連携し、青少年の非行防止に向けてさまざまな活動を行っています。

■問い合わせ 教育委員会生涯学習・スポーツ推進係 (☎85-6147)

介護ヘルパー・介護労働者 110番

▼いつ 7月19日(水)〜20日(木) 午前10時〜午後7時

▼内容 ①介護ヘルパー・介護労働者から労働相談を受け付けます。

②労働問題からは相対的に離れた介護の制度やこれにまつわる悩みなどについても相談者と一緒に考え対応します。

▼受付電話 フリーダイヤル ☎0120-3781060

■問い合わせ 山形県労働相談センター事務所 (☎023-623-4010)

パソコン講習会 (7月)

期日	時間	コース	内容	受講料
7月18日(火) 19日(水) 20日(木)	午後1時30分 ~3時30分 (合計6時間)	パソコン入門 文字入力コース	パソコン初心者向けのコースです。パソコンを始めるなら、まずは文字入力ができることが必要です。そこで今回は集中的に6時間文字入力をやってみましょう。	3,000円

◆会場 白鷹町総合情報センター (パワーセンター隣接)

◆受講料 3,000円 ◆テキスト代 1,050円

◆申込・問い合わせ 白鷹町総合情報センター (☎86-0151) ※電話番号をお間違えなく。

◆お願い 受講途中に、退席されても受講料とテキスト代は返金できませんのでご了承ください。

*毎月第4土曜日は、情報センターの無料開放日! 午後1時~4時までどなたでもご利用いただけます。

♪NHK朝のドラマ『純情きらり』ヒロイン役 宮崎あおいの草笛吹替演奏者♪

菅間忠男 草笛コンサート

いつ 7月22日(土) 午後2時~3時30分
(午後1時30分開場)

どこで 中央公民館大ホール

◇演奏曲目

「江戸子守り唄」「さくら貝の歌」「太陽がいっぱい」「少年時代」「星に願いを」「アヴェマリア」など

*当日、草笛の指導もいただきますので、つつじ・さくら・ばら・山芋の葉など身近にあるもの2~3枚持参ください。

◇入場料 大人500円(当日600円)

*小・中・高校生は無料ですが、整理券が必要です。

◇入場券・整理券の取り扱い

教育委員会・各地区公民館・中央公民館・町立図書館

◇主催 白鷹町・白鷹町教育委員会・白鷹町芸術文化協会

◇後援 荒砥高等学校・山形新聞・山形放送

■問い合わせ 教育委員会文化振興係 (☎85-6146)



菅間忠男氏のプロフィール

1943年白鷹町荒砥で生まれる。荒砥中学校・荒砥高校・山形大学に在学中から草笛を吹き続ける。50代に入って草笛の思いが強くなり練習時間を増やす。現在は仕事もやりながら草笛教室なども開催。

ピアノ伴奏者 長谷部真弓さん

蚕桑在住

聖霊女子短期大学音楽科ピアノ専攻・ヤマハ音楽教室講師を経て、現在は自宅にてピアノ指導

戸籍の窓

●6月1日▶6月30日

ご結婚おめでとう

氏名	住所
(大宮 達郎)	神奈川県
(岡部 美奈子)	鮎貝
(渋谷 陽平)	箕和田
(勝野 青佳)	長野県

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
横田尻	丸川 利優 英子	ゆうた 裕太
畔藤	菅原 智純 宏子	さき 紗希
十王	五十公野 政純 人子	ヒカル
荒砥乙	大貫 智千 寛夏	あやか 華
高岡	小関 裕みゆき 智き	琉威
浅立	高橋 純愛 一美	ゆうせい 祐星
荒砥甲	工藤 裕一 郎子	ななこ 那子

おくやみ

住所	氏名	年齢
鮎貝	和田 幸雄	83
荒砥甲	内山 ハナヨ	88
荒砥甲	橋本 味吉	74
十王	原田 英次	79
畔藤	菅原 伊左衛門	81
萩野	小川 昌子	51
横田尻	鈴木 武次	72
荒砥甲	鈴木 俊美	81
荒砥甲	林 鶴	95
畔藤	齋藤 菊子	65
畔藤	田中 君代	74
箕和田	長岡 まつ	86
荒砥乙	佐藤 清	78
荒砥乙	塚本 登美子	74
鮎貝	赤間 利男	81
浅立	菊地 その	96
佐野原	伊藤 みよの	83
畔藤	富永 啓吉	77
高玉	梅津 ひさ子	87
荒砥乙	渡部 とみ	92
浅立	沼澤 藤吾	97

固定資産税等の課税誤りに対するおわび

町行政につきましては、日ごろよりご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。このたびの固定資産税等の課税誤りにつきましては、税務行政のみならず町行政全体の信頼を損なうことになり、あらためて深くおわび申し上げます。

課税誤りの概要につきましては、全戸配布の文書のとおりであります。関係者の皆様には、戸別に訪問しておわびとご説明をさせていただいたところであります。

今後、二度とこのような誤りを起こすことがないよう、全庁的に事務事業の総点検を行い、チェック体制のあり方を見直すなど、危機管理体制の構築に努力してまいります。さらには、職員一人ひとりが使命感と緊張感を持ち、一丸となって町民の皆様の信頼回復に努めてまいります。

白鷹町長 橋本光記



▼消防団操法大会が行われました。力及ばず、悔し泣きをする一人の選手を目の当たりにしました。何十日の間、精一杯努力したからこそ、思いがあふれこみ上げた心の汗。だれでも流せるものではなく、本当にすばらしいものです。この涙はきつと次につながることでしよう。

▼文化交流センターの基本計画が策定されました。これまで皆さんにお話しいただいたことが、実現に向けて動き始めました。新しいまちづくりの拠点として、町民の皆さんが主役となり、いろいろな活動ができる場所となります。完成後の未来を思い描いていきたいものです。

(つめこ)